

南アルプス市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定方針

1 総合戦略策定について

- 平成 26 年 11 月、少子高齢化による人口減少社会への対応や、東京圏への人口の集中の是正など（いわゆる「地方創生」）を目的として、まち・ひと・しごと創生法が成立
- これを受け、市では平成 27 年 10 月『まち・ひと・しごと創生総合戦略(第1期)』を策定
- 本計画の期間は令和元年度で終了
- 引き続き地方創生の取組みを推進するため、第 2 期の『総合戦略』を策定する。

2 計画期間

令和2年度から令和6年度までの5年間

3 基本的な考え方

- 基本目標の設定では、「国及び山梨県の基本目標」を勘案する。
- 施策を推進するに当たり、国の示す「新たな6つの視点」を考慮する。
- 「観光の振興」と「企業誘致の推進」を施策の基軸とする。

4 基本目標

- | | |
|-----|---|
| I | しごとをつくり、安心して働けるようにする、これを支える人材を育てて活かす |
| II | 新しいひとの流れをつくる |
| III | 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる、誰もが活躍できる地域社会をつくる |
| IV | 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する |

5 数値目標と重要業績評価指標(KPI)

- ①基本目標には、5年後に達成を目指す「数値目標」を設定する。
- ②基本目標の下には、「施策」と「重要業績評価指標(KPI)」を設定する。
- ③重要業績評価指標(KPI)を基に、施策の効果を検証し、必要に応じて計画を見直すなど、PDCA サイクルを確立する。

【例】

- | | |
|----------------|---|
| 基本目標 I | しごとをつくり、安心して働けるようにする、これを支える人材を育てて活かす |
| ↳数値目標 | 従業者4人以上の事業所の従業者数について、毎年度増加を目指す
現状値(平成30年):8,115人 |
| ○施策1 | 地域産業の振興 |
| ↳重要業績評価指標(KPI) | —○○数:○○件 |
| ○施策2 | ・・・ |

【国と山梨県の基本目標】

国の基本目標(案)	山梨県の基本目標(案)
地方にしごとをつくり安心して働けるようにする、これを支える人材を育て活かす	魅力あるしごとと、これを支える人材をつくる
地方への新しいひとの流れをつくる	やまなしへの新しいひとの流れをつくる
若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる、誰もが活躍できる地域社会をつくる	結婚・出産・子育ての希望がかない、誰もが活躍できるやまなしをつくる
時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する	時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守る

【新たな6つの視点】

①地方へのひと・資金の流れを強化する	・将来的な地方移住にもつながる「関係人口」の創出・拡大 ・企業や個人による地方への寄附・投資等による地方への資金の流れの強化
②新しい時代の流れを力にする	・Society5.0 ^{*1} の実現に向けた技術の活用 ・SDGs ^{*2} を原動力とした地方創生 ・地方から世界へ
③人材を育て活かす	・地方創生の基盤をなす人材に焦点をあて、掘り起こしや育成、活躍を支援
④民間と協働する	・地方公共団体に加え、NPO などの地域づくりを担う組織や企業と連携
⑤誰もが活躍できる地域社会をつくる	・女性、高齢者、障害者、外国人など誰もが居場所と役割を持ち、活躍できる地域社会を実現
⑥地域経営の視点で取り組む	・地域の経済社会構造全体を俯瞰して地域をマネジメント

^{*1} サイバー空間(仮想空間)とフィジカル空間(現実空間)を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する新たな社会を目指すもので、第 5 期科学技術基本計画においてはじめて提唱された

^{*2} 「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の略称。途上国を中心に経済発展により貧困の撲滅を図りながら、これらの人間活動による様々な問題に対応していくため、国際社会が協働して解決に取り組んでいくために、2015 年 9 月の国連サミットで採択された。SDGs で設定された 17 のゴールには、貧困の撲滅や健康、教育などの基本的なニーズを満たすとともに、経済成長や格差解消、エネルギーの確保といった経済・社会の改革、気候変動や生態系の保全などの地球環境と密接に関わる課題など、幅広い分野を含んでいる。